

「女子中学生の姿勢と生活環境に関する調査」へのご協力をお願い

実施責任者：松本 守雄（慶應義塾大学 整形外科）

調査代表者：渡辺 航太（慶應義塾大学 先進脊椎脊髄病治療学）

1 調査の目的

子どもの姿勢に関係する病気の要因（生活環境）を明らかにして、その予防に役立てることが目的です。

子どもの姿勢に関係する病気として、例えば側弯症（そくわんしょう）があります。側弯症とは、通常、正面から見るとまっすぐになっている背骨が、左右に曲がるとともにねじれている状態をいいます。思春期の女の子に多い病気で、その原因はまだ分かっていませんが、生活環境が影響しているのではないかとされています。そのため、多くの患者さんとそのご家族は、スポーツ、食事、姿勢、鞆の持ち方などの日常生活環境が原因になったのではないかと心配されています。この調査で、どのような生活環境が姿勢に影響するのか明らかにすることで、これからの子ども達の病気の予防につなげたいと考えています。

調査の目的をご理解いただいたうえ、ご協力くださりますようお願い申し上げます。

2 調査協力の任意性と撤回の自由

この調査に協力されるかどうかは、あなた（とあなたのお子さん）の自由です。協力をお断りになっても、診療で不利益を受けることはなく、担当医が誠意をもって対応いたします。

3 調査方法・協力事項

調査へご協力いただける場合は、お子さんの日常生活環境や食生活に関する質問、ご家族に関する質問などについてうかがう 20～30 分のアンケートにご回答ください。無記名のアンケートなので、個人が特定されることは一切ありませんのでご安心ください。

4 調査協力者にもたらされる利益および不利益

アンケートの記入には、20～30 分くらいかかります。無記名のアンケートのため、ご協力いただいたあなたには結果をお返しできませんが、本調査の結果は、これからの子ども達の健康増進に役立つものです。

5 個人情報の保護

アンケートは無記名で行いますので、個人が特定されることは一切ありませんのでご安心ください。回収したアンケートは、担当者が鍵のかかる部屋で厳重に管理し、調査が終了した時点でシュレッターを用いて破棄します。結果は集計して、学術集会などで公表する予定ですが、当然、個人を特定するような情報を提示することはありません。

6 研究計画書等の開示

ご希望があれば、この調査の計画内容をお見せいたします。その旨、実施責任者にお申し出ください。

7 協力者への結果の開示

無記名のアンケートのため、ご協力いただいたあなたには結果をお返しできませんのでご承知おきください。

8 調査成果の公表

調査結果は、学術集会（日本整形外科学会、日本脊椎脊髄病学会、日本側弯症学会など）にて公表する予定です。

9 研究から生じる知的財産権の帰属

研究の結果として特許権などが生じる可能性があります。その権利は国、調査機関、共同調査機関および調査遂行者などに属し、あなたには属しません。また、その特許権などをもととして経済的利益が生じる可能性があります。あなたはこれについても権利がありません。

10 研究終了後の試料取扱の方針

調査が終了した時点でシュレッターを用いて破棄いたします。

11 費用負担に関する事項

ご協力いただくうえで費用負担が生じることはありません。

12 問い合わせ先

実施責任者： 慶應義塾大学医学部整形外科 松本守雄
〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35
Tel: 03-5363-3812 (直通、日中)

本調査の協力者:

西脇 祐司 (東邦大学医学部 社会医学講座 衛生学分野)

道川 武紘 (国立環境研究所 環境健康研究センター)

朝倉 敬子 (東京大学大学院情報学環)

高相 晶士 (北里大学 整形外科)

米澤 郁徳 (順天堂大学 整形外科)

南 昌平 (聖隷佐倉市民病院)

曾雌 茂 (慈恵医大整形外科)

手塚 正樹 (済生会中央病院整形外科)